

# 私の学習方法

森 功

私が中学生、高校生のころ、テスト勉強に関して言えば「試合と一緒だ」と考えていました。例えば・・・

- ① 相手はどんな技が得意なのか ⇒ 先生はどんな出題をしてくるのか。
- ② 相手が出してくる技で、自分が対応できるものと、できないものはなにか。  
⇒ 出されるであろう問題で、自分が得意なものと、そうでないものは何か。
- ③ 対応できない技への練習を繰り返す。⇒ 不得意な問題を繰り返す。
- ④ 得意な技をさらに磨く ⇒ できる問題をより確実にできるようにする。

というように、試合で勝つための準備と、試験で自分の目標を達成するための準備を重ねて考えていました。そして、ほぼどの教科も共通して以下のように取り組んでいました。

- ① 各教科のテスト範囲を十分に確認する。
- ② テスト範囲の中で、先生が日頃から「重要だ」としていたポイント、自分が得意なポイント、苦手（理解していない、覚えていない）なポイントに分ける。
- ③ ノートに重要ポイント、覚えていないポイント、よく間違える問題の模範解答をまとめ、繰り返し読み書きする。
- ④ ワークや予想問題をこなす。
- ⑤ ワークや予想問題で、できなかった問題をまとめ、それを繰り返し読み書きする。
- ⑥ 理解している、覚えていると思っていることに間違いはないか確認する。

このような学習をすすめるためには、相応の時間が必要になります。ですから、テスト範囲が発表される前にある程度予想して早めに取り組むと、時間の余裕ができました。そのためには、日頃の授業に集中して取り組み、何が大切なのかを理解しておくことが重要です。

また、漢字や英単語、計算練習などは生活の中の「隙間時間」を見つけて繰り返し練習しておく、テスト前に慌てることも少なくなりました。今振り返って考えてみると、この「隙間時間」での繰り返しは、基礎体力づくりのランニングや腕立て伏せだったのかなと思います。

部活での努力も、学習での努力も通じるころはあるはずです。別なものと考えず、取り組んでください。